

発表テーマ 概要(発表順)

施設名 (発表開始時間)	テーマ概要	
大塚病院 (10時15分～)	都立	<p>外国人対応の指さし会話シート作成 ～あなたも外国人患者の案内できます～</p> <p>当院における J M I P 受審の準備として、外国語のスキルが低くても外国人対応を行える指さし会話シートを作成した。受付～検査終了の流れをフローチャート化し、タブレット端末に実装して音声ガイダンスを付加したことで、よりわかりやすい会話シートになった。今後、対応可能な言語を追加する予定</p>
神経病院 (10時30分～)	都立	<p>シャワー浴時のタオルを使用した保温方法の工夫</p> <p>当病棟の浴室はシャワー室が主であり、入浴時のように体の芯まで温まる事は難しい。シャワー浴時に、背部に温タオルをあてると「気持ちいい」という患者の反応がみられたことに着目し、タオルを用いた効果的な保温方法について検討し、実践したところ、シャワー浴時の患者満足度が大きく向上した。</p>
大久保病院 (10時45分～)	公社	<p>入院時支援加算 取ろう200点！！</p> <p>新設された入院時支援加算により、入院前から退院を見据えた介入が行えるようになった。これにより加算算定ができ、早期に地域と連携し退院に向け支援していくことが可能となった。この取り組みを振り返るとともに強化改善につながるようテーマとした。</p>
北療育 医療センター (11時00分～)	福保	<p>湿気させない粉薬の保管方法</p> <p>小分け分包された散薬は、高温・多湿の条件下において変質する可能性がある。そこで、変質を防止できるような保管方法について検討を行った。その結果から、薬の保管に関する説明用パンフレットと散薬の保管袋を作成した。今後も様々な媒体を使って薬の保管方法について啓発活動を行っていく。</p>
府中療育 センター (11時15分～)	福保	<p>誰でも消耗品請求が迷わず短時間でできる</p> <p>適切な在庫管理は無駄の防止だけでなく、衛生的にも重要である。今回、消耗品請求に伴う職員の負担軽減、在庫過多状況解消を目指し、収納場所と使用量の把握による在庫管理の見直しを行い、「短時間」で「誰でも、迷わず」にできる消耗品請求という、継続可能な業務改善に取り組んだ。</p>
東京都がん 検診センター (11時30分～)	公社	<p>REVOLUTION ～受診者呼び出し方法の改革～</p> <p>近年、公的な施設を中心に、プライバシーの尊重に基づく個人情報の保護が求められている。そこで、婦人科・乳腺腫瘍外科のあるレディースエリアでは、外来や検査時における受診者の案内方法の改善として、見やすい大きな番号札による番号案内を試験的に実施した。</p>
松沢病院 (13時00分～)	都立	<p>職員カードを活用した事務作業の効率化</p> <p>新しい災害時都立病院職員参集ルール（30年度改正）では、当院には所属職員より多くの他院職員が参集指定されている。また、精神科病院の特性上、当院にはカードゲートが各所にあり、セキュリティカードの配布が必須となる。そこで、これらを管理する職員カードを用いた参集者管理システムを開発した。</p>
東部地域病院 (13時15分～)	公社	<p>予約入院患者支援推進に向けた多職種連携</p> <p>予約入院患者が安心して入院生活を送るためには、入院前から退院後の生活を見据えて多職種で連携して支援することが必要である。人員・設備上の制限がある中で、この入院時支援を実現させるための多職種連携について検討し、実践できたため、ここに報告する。</p>

※発表は、1施設あたり15分です。

施設名 (発表開始時間)	テーマ概要	
豊島病院 (13時30分～)	公社	<p>総合患者支援センターの入院前支援における歯科衛生士による口腔内スクリーニング</p> <p>総合患者支援センターが4月から開設され、歯科衛生士も一員となった。挿管時の歯の損傷事故を防ぐため、入院支援部門が介入する全身麻酔手術患者を対象に、外来から口腔内スクリーニングを実施した。入院前に治療に繋げる体制を構築し、患者の安全・安心への効果が得られたため報告する。</p>
駒込病院 (13時45分～)	都立	<p>周術期等口腔機能管理をもっと広めて活用しよう！！</p> <p>がん患者への口腔ケアは、誤嚥性肺炎の予防や口腔粘膜炎の緩和に有効であり、がん治療のサポートとして注目を集めている。口腔ケアの普及拡大に向けて、今回当院で取り組んだ「チーム医療による周術期口腔ケアの推進」「地域歯科医院との連携強化」について、活動と成果を報告する。</p>
広尾病院 (14時15分～)	都立	<p>不安を減らしてすやすやタイム わかって安心PSG（終夜睡眠ポリグラフィー）</p> <p>睡眠時無呼吸検査の患者説明への説明をわかりやすくするために、ポータブルDVDプレーヤーで視聴できる動画の検査説明を作成した。患者アンケートでは従来の説明と比べわかりやすいという意見が多く、外来で診察待ち時間に視聴するようにすれば医師の業務軽減にもつながる。</p>
荏原病院 (14時30分～)	公社	<p>検査の算定豆知識 ～小さなことからコツコツと～</p> <p>病院経営の基盤安定化を図るためには、診療報酬の減額査定や病院持出し経費をいかに減らすかが重要である。そこで検査科と医事課で連携し、診療報酬算定要件について理解を深めること、収益に結びついていない検査項目の実態を分析・周知することの2点から収支の改善に繋げることを目的に活動した。</p>
多摩南部 地域病院 (14時45分～)	公社	<p>こたえはいつもカルテにある ～抗がん薬レジメン情報共有によるリスク回避～</p> <p>抗がん薬適正使用のため、独自に「レジメン情報提供システム」を作成した。関係職員が簡易に情報を確認することを可能とし、医療スタッフの業務軽減と、適正な抗がん薬使用を推進した。今後は提供する情報の充実を図り、更なる効果と安全・安心の医療提供に繋げていきたい。</p>
多摩北部 医療センター (15時00分～)	公社	<p>地域連携のさらなる充実を目指して</p> <p>今までの地域連携の取り組みから一步踏み出し、地域の医療・福祉施設等の管理栄養士等との連携方法について検討した。情報提供する際の要綱作成、交流会の開催、人材育成支援のための研修、デイケア見学後の栄養・食事情報提供書等の工夫等により、地域包括ケアシステム構築に貢献することができた。</p>
多摩総合 医療センター (15時30分～)	都立	<p>一般撮影時における股関節軸位撮影の補助具の検討と作成</p> <p>股関節軸位撮影は当院において依頼数の多い撮影法の一つであるが、患者にとって負担の大きい撮影法でもある。そこで、患者の負担軽減を目的とした補助具を検討・作成した。その結果、従来と比較して、患者の負担軽減となる補助具の作成に成功した。今後は高さを調節できるよう工夫したい。</p>
小児総合 医療センター (15時45分～)	都立	<p>患者と協力した防災訓練の実施 ～児童・思春期精神科病棟に入院中の患者と共に行う防災訓練～</p> <p>児童・思春期精神科病棟で、入院患者参加型防災訓練を実施した。訓練前に、視覚からの情報提供のための絵カードを使用し、短時間の説明会を3回実施した。訓練では、参加した患者全員が自分で身を守る避難行動ができた。訓練の準備と効果を報告する。</p>
墨東病院 (16時00分～)	都立	<p>お薬手帳でつなぐ、ささえる、地域医療連携 ～がん化学療法情報を共有する～</p> <p>がん化学療法では、副作用や注意点など、患者が関わる複数の医療機関で相互に共有すべき情報が多いが、内服薬・外用薬の情報に比べ、注射薬や治療レジメン等の情報共有は十分とは言えない。そこで、保険調剤薬局や地域医療機関との情報共有ツールとして、お薬手帳の活用について検討した。</p>

※発表は、1施設あたり15分です。